

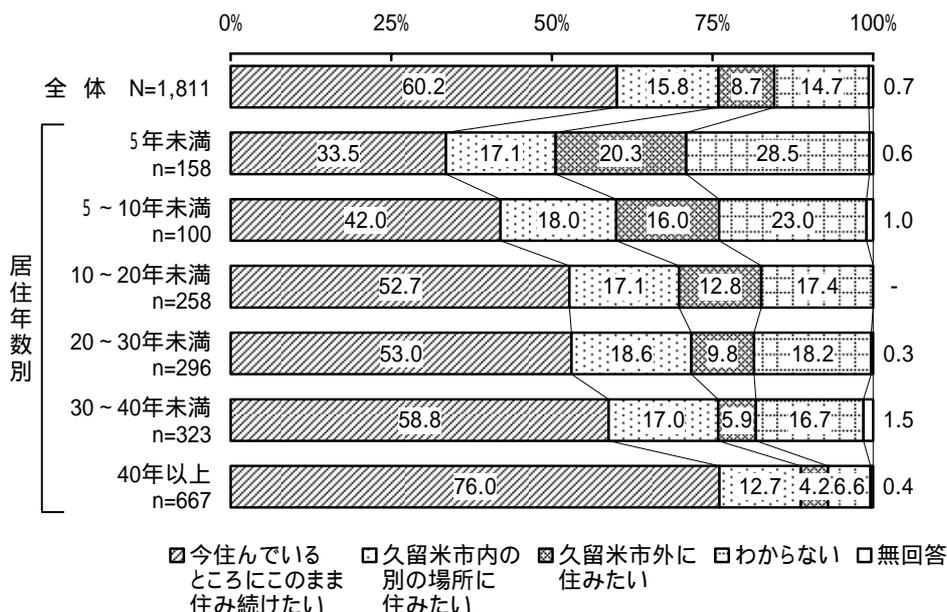
第3章

住みやすさ・愛着

3 - 1 居留意向

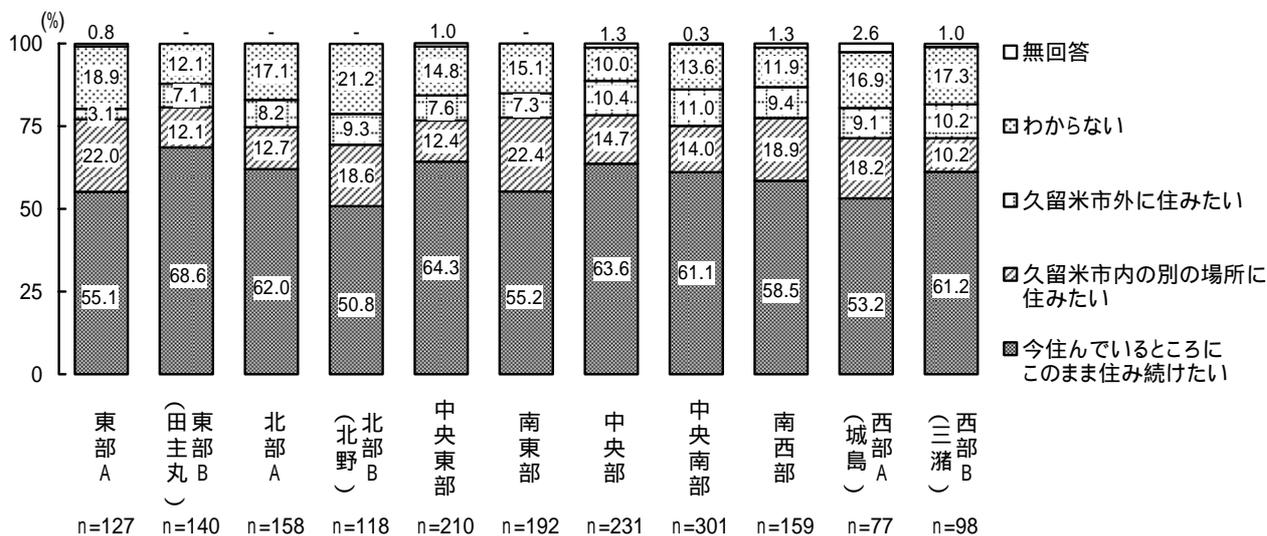
『久留米市に住み続けたい・住みたい』は76.0%。居住年数が長いほど本市への居留意向が高い。

問12 あなたは、もし住みかえることができるとして、これからも久留米市に住み続けたいと思えますか。(あてはまる番号に1つだけ 印)



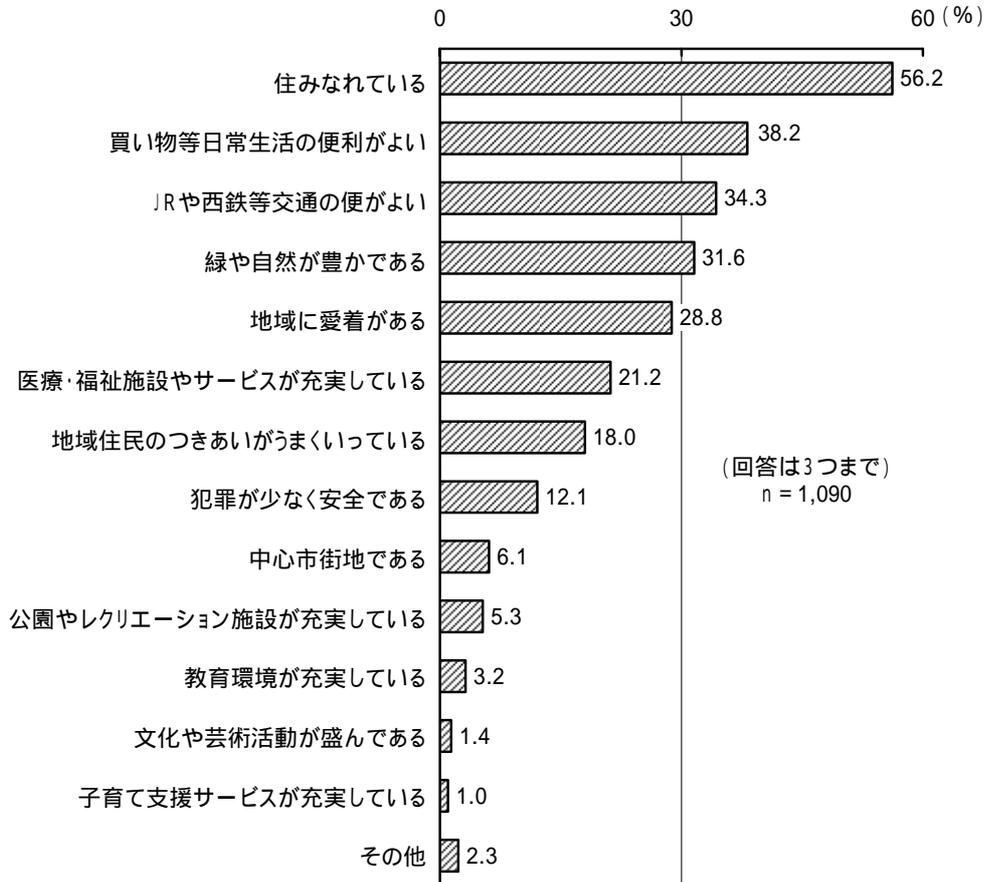
- ・性別で見ると、「久留米市内の別の場所に住みたい」は男性(13.1%)より女性(18.1%)の割合が高い。
- ・年齢別で見ると、「今住んでいるところにこのまま住み続けたい」割合は70歳以上(81.8%)や60歳代(74.3%)、50歳代(63.3%)の高い年齢層で高く、20歳代では39.0%と低くなっている。
- ・ブロック別にみると、東部B(田主丸)(68.6%)や中央東部(64.3%)、中央部(63.6%)、西部B(三潁)(61.2%)で「このまま住み続けたい」という割合が高い。

地域別にみた居留意向



住み続けたい理由は「住みなれている」から。次いで「日常生活の便利がよい」、「交通の便がよい」。

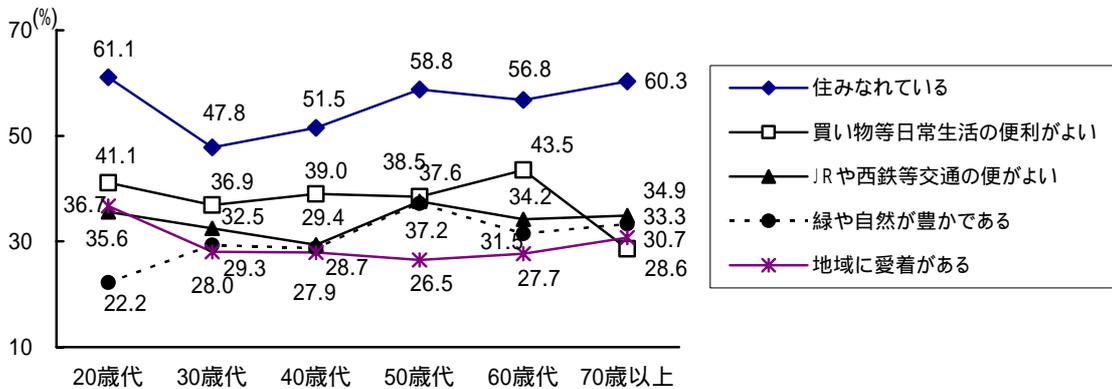
付問 1 **問 12 で「今住んでいるところにこのまま住み続けたい」に回答した人に**
 あなたが、今のところ住み続けたい主な理由は何ですか。(あてはまる番号に3つまで 印)



・性別で見ると、女性は「JRや西鉄等交通の便がよい」(38.6%)が高く、男性は「地域に愛着がある」(33.1%)が高い。

・ブロック別にみると、「買い物等日常生活の便利がよい」が上位にあるのは中央東部(61.5%)、中央南部(48.9%)、北部A(48.0%)、中央部(45.6%)。「緑や自然が豊かである」が上位にあるのは東部A(68.6%)、東部B(田主丸)(63.5%)。

年齢別にみた住み続けたい理由(上位5位)



ブロック別にみた住み続けたい理由（上位5位）

(%)

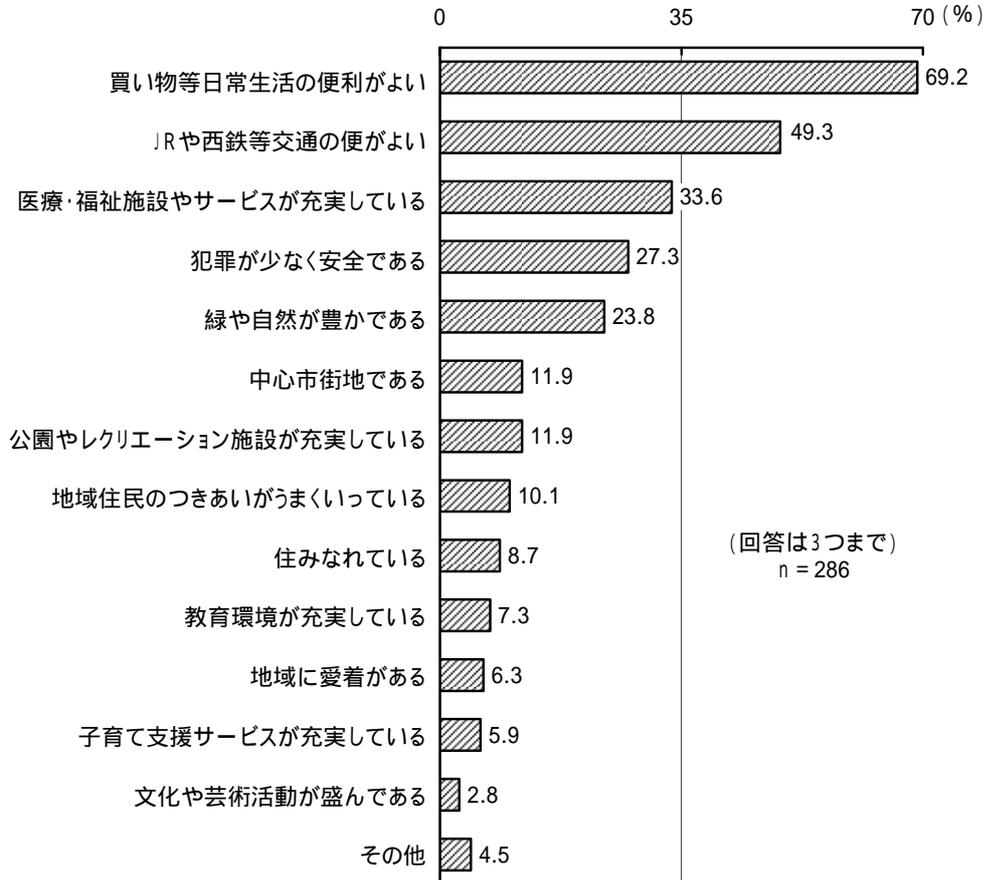
順位	1位	2位	3位	4位	5位	
全体(N=1,090)	住みなれている 56.2	買い物等日常生活の便利がよい 38.2	JRや西鉄等交通の便がよい 34.3	緑や自然が豊かである 31.6	地域に愛着がある 28.8	
ブロック別	東部A (n=70)	住みなれている 68.6	住みなれている 58.6	地域に愛着がある 35.7	買い物等日常生活の便利がよい 32.9	JRや西鉄等交通の便がよい 18.6
	東部B(田主丸) (n=96)	住みなれている 63.5	住みなれている 58.3	地域に愛着がある 40.6	地域住民のつきあいがうまくいっている 33.3	犯罪が少なく安全である 25.0
	北部A (n=98)	住みなれている 62.2	買い物等日常生活の便利がよい 48.0	緑や自然が豊かである 33.7	JRや西鉄等交通の便がよい 32.7	地域に愛着がある 25.5
	北部B(北野) (n=60)	住みなれている 61.7	住みなれている 41.7	地域に愛着がある 33.3	JRや西鉄等交通の便がよい 28.3	買い物等日常生活の便利がよい 26.7
	中央東部 (n=135)	住みなれている 61.5	住みなれている 51.1	JRや西鉄等交通の便がよい 43.7	医療・福祉施設やサービスが充実している 27.4	緑や自然が豊かである 25.2
	南東部 (n=106)	住みなれている 64.2	住みなれている 43.4	買い物等日常生活の便利がよい 34.9	医療・福祉施設やサービスが充実している 27.4	地域に愛着がある 25.5
	中央部 (n=147)	JRや西鉄等交通の便がよい 60.5	住みなれている 45.6	住みなれている 44.9	医療・福祉施設やサービスが充実している 30.6	中心市街地である 21.1
	中央南部 (n=184)	住みなれている 49.5	住みなれている 48.9	JRや西鉄等交通の便がよい 46.7	医療・福祉施設やサービスが充実している / 地域に愛着がある 27.2	
	南西部 (n=93)	住みなれている 69.9	地域に愛着がある 35.5	住みなれている 33.3	JRや西鉄等交通の便がよい 32.3	地域住民のつきあいがうまくいっている 20.4
	西部A(城島) (n=41)	住みなれている 73.2	地域に愛着がある 53.7	犯罪が少なく安全である 36.6	地域住民のつきあいがうまくいっている 34.1	緑や自然が豊かである 24.4
西部B(三瀬) (n=60)	住みなれている 48.3	JRや西鉄等交通の便がよい 43.3	住みなれている 33.3	地域住民のつきあいがうまくいっている / 地域に愛着がある	30.0	

久留米市の別の場所への住みかえにあたり重視するのは「日常生活の便利がよい」こと。

付問 2 問 12 で「久留米市内の別の場所に住みたい」に回答した人に

久留米市の別の場所に住みかえるにあたって、特に重視することは何ですか。

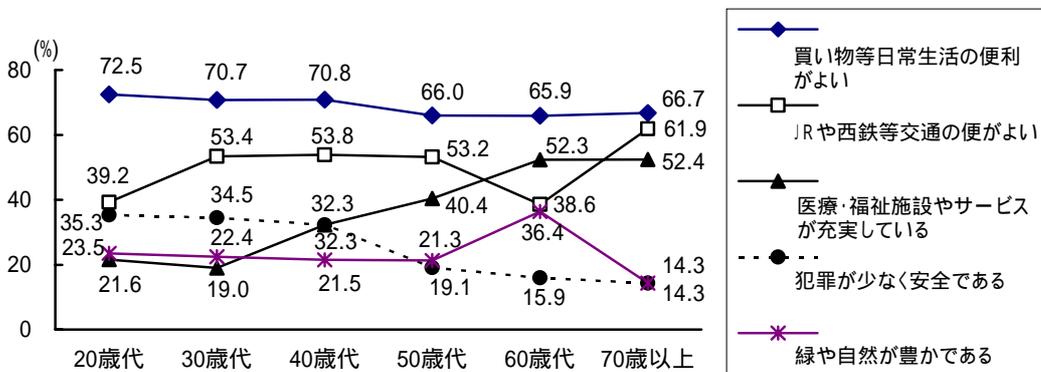
(あてはまる番号に3つまで 印)



・性別でみると、「買い物等日常生活の便利がよい」や「JRや西鉄等交通の便がよい」はともに女性が高い(74.6%、53.7%)。一方、「犯罪が少なく安全である」などは男性(31.2%)の方が高い。

・年齢別でみると、「医療・福祉施設やサービスが充実している」は年齢が高くなるほど割合が高くなり、60歳代以上では半数を超える。

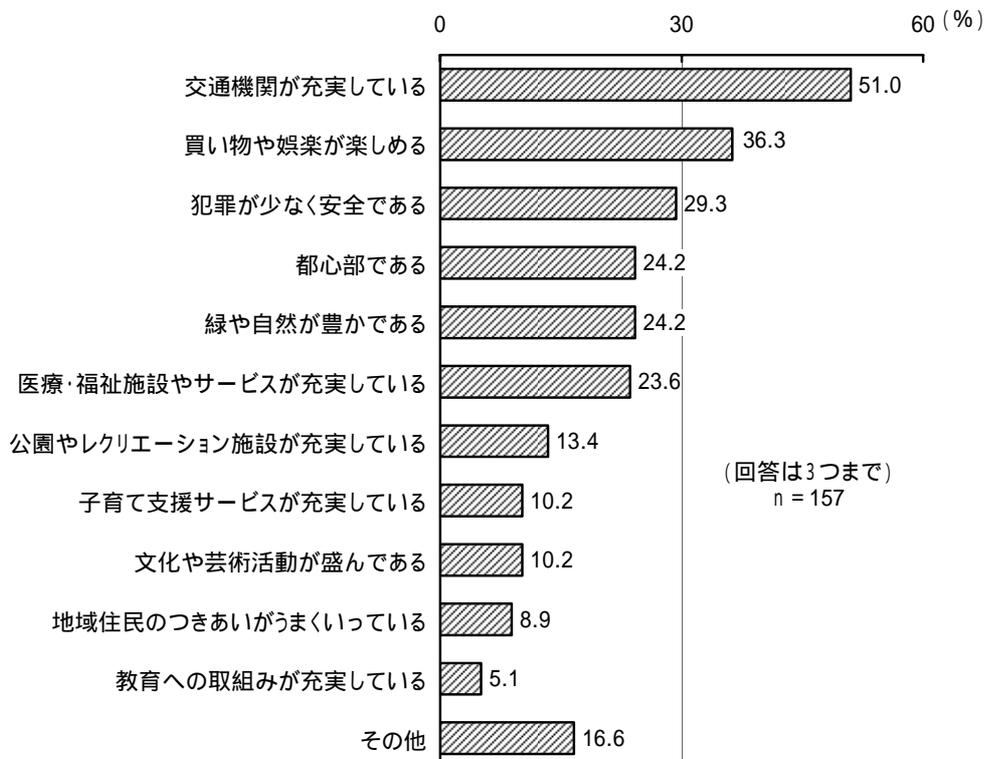
年齢別にみた住みかえる際に重視すること(上位5位)



市外の住みたい場所の条件は、「交通機関が充実している」が半数を超える。

付問3 **問12で「久留米市外に住みたい」に回答した人に**

市外のどのような場所に住みたいと思いますか。(あてはまる番号に3つまで 印)

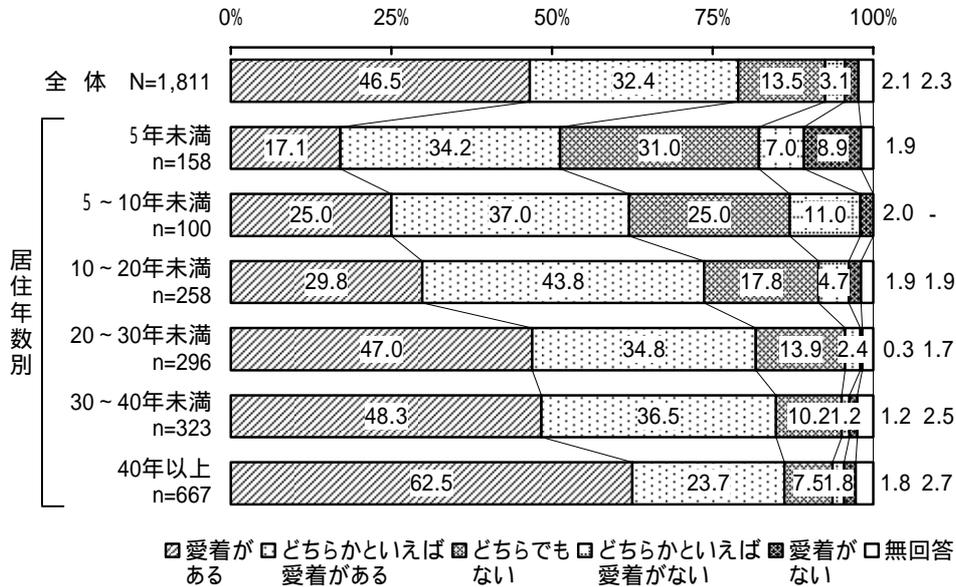


性別でみると、男性の方が高いのは「交通機関が充実している」(54.5%)、「犯罪が少なく安全である」(32.5%)など。一方、「買い物や娯楽が楽しめる」(40.0%)などでは女性の方が高い。

3 - 2 久留米市への愛着

『愛着を持っている』は 78.9%。居住年数が長いほど本市への愛着が高い。

問 13 あなたは、久留米市に愛着を持っていますか。(あてはまる番号に 1 つだけ 印)

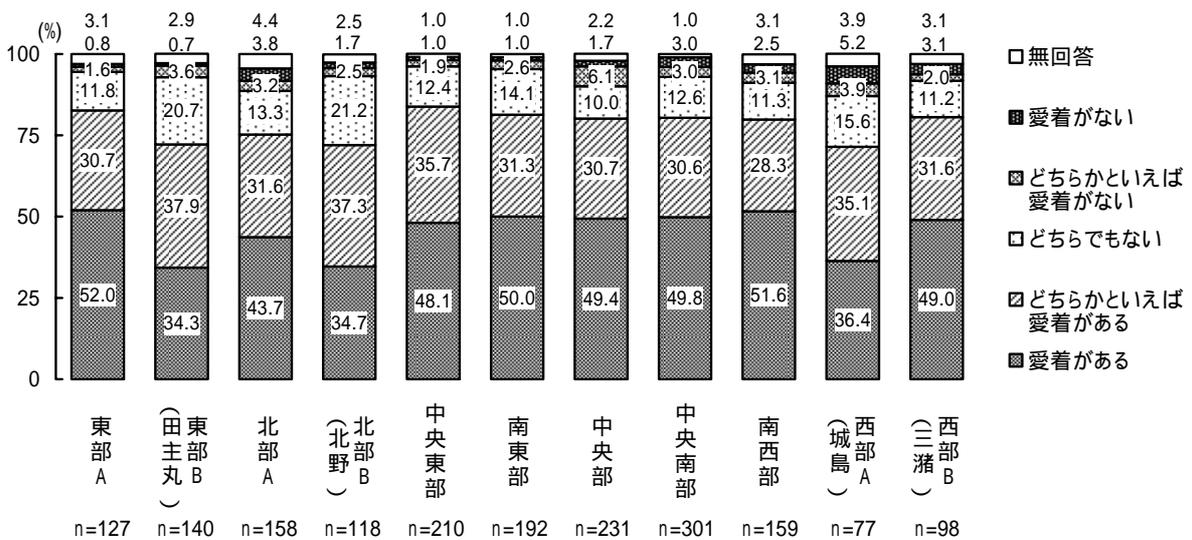


・性別でみると、大きな差はみられない。

・年齢別でみると、「愛着がある」の割合は年齢が高いほど高くなる傾向にある。特に 50 歳代以上で 5 割～ 6 割と高い。

・ブロック別にみると、「愛着がある」の割合は東部 B (田主丸) (34.3%)、北部 B (北野) (34.7%)、西部 A (城島) (36.4%) などやや低くなっている。

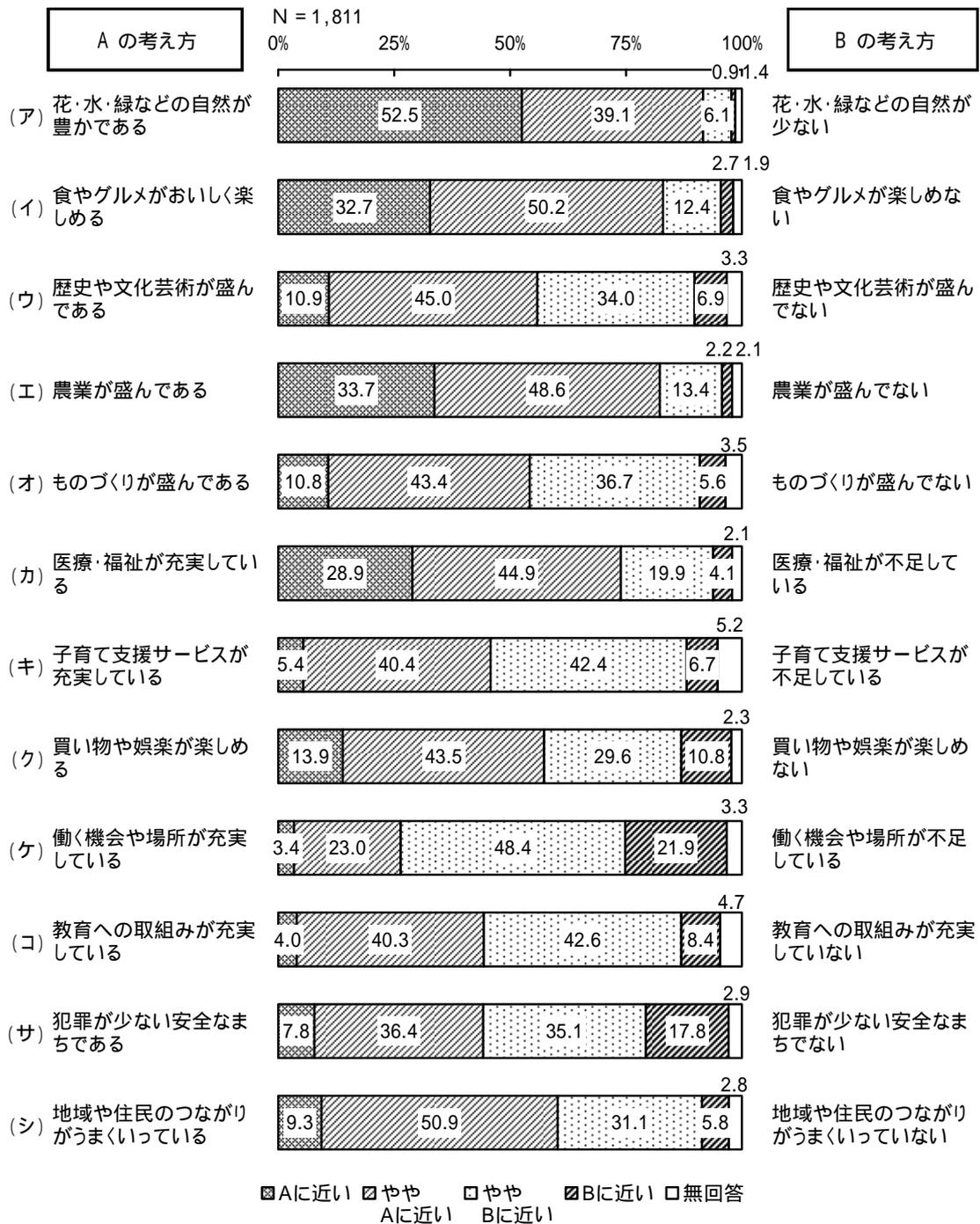
ブロック別にみた久留米市への愛着



3 - 3 久留米市のイメージ

「自然が豊か」、「食やグルメがおいしい」、「農業が盛ん」、「医療・福祉が充実」というイメージが強い。

問 14 久留米市のイメージとして、次の(ア)～(シ)の事柄について、あなたは〔A〕〔B〕のどちらの意見に近いですか。(項目ごとそれぞれあてはまる番号に1つずつ 印)



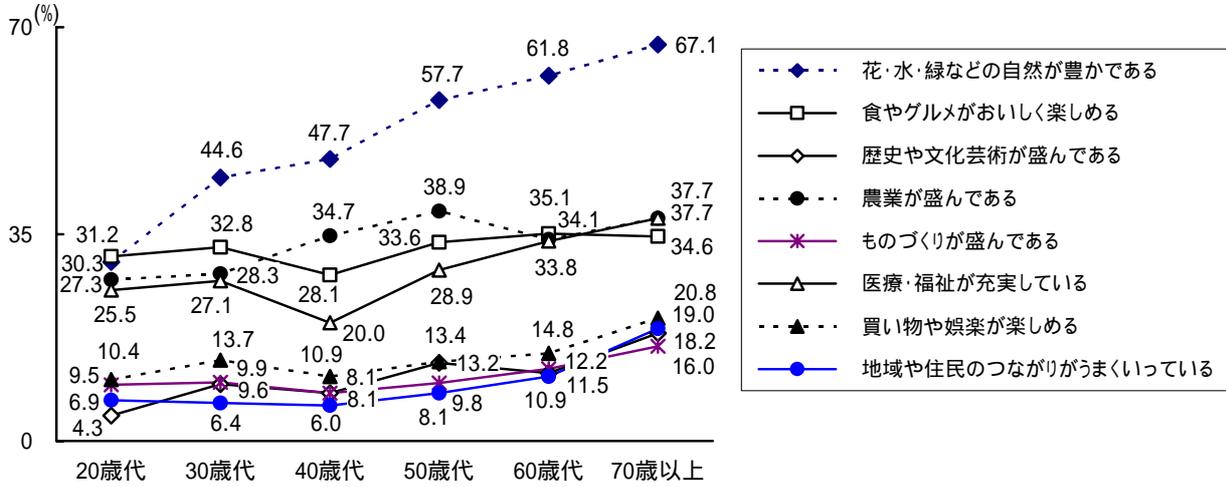
・性別で見ると、ほとんどの項目で女性の方がAの考え方に近い。

・年齢別で見ると、「ア.花・水・緑などの自然が豊かである」というイメージを持っている人は30歳代以上では9割を超えているが、20歳代では81.8%となっている。また、「エ.農業が盛んである」も30歳代以上で8割を超えて高い。「カ.医療・福祉が充実している」は20歳代で56.2%と最も低く、60歳代以上の高齢層では8割を超えている。



ブロック別にみると、「ア.花・水・緑などの自然が豊かである」というイメージは東部Aで97.6%と最も高く、西部B(三潁)で83.7%と低い。「エ.農業が盛んである」は北部B(北野)と東部A、東部B(田主丸)で9割を超えている。「カ.医療・福祉が充実している」は南西部や中央部で8割を超えて高く、東部B(田主丸)(57.8%)や北部B(北野)(61.9%)などで低い。

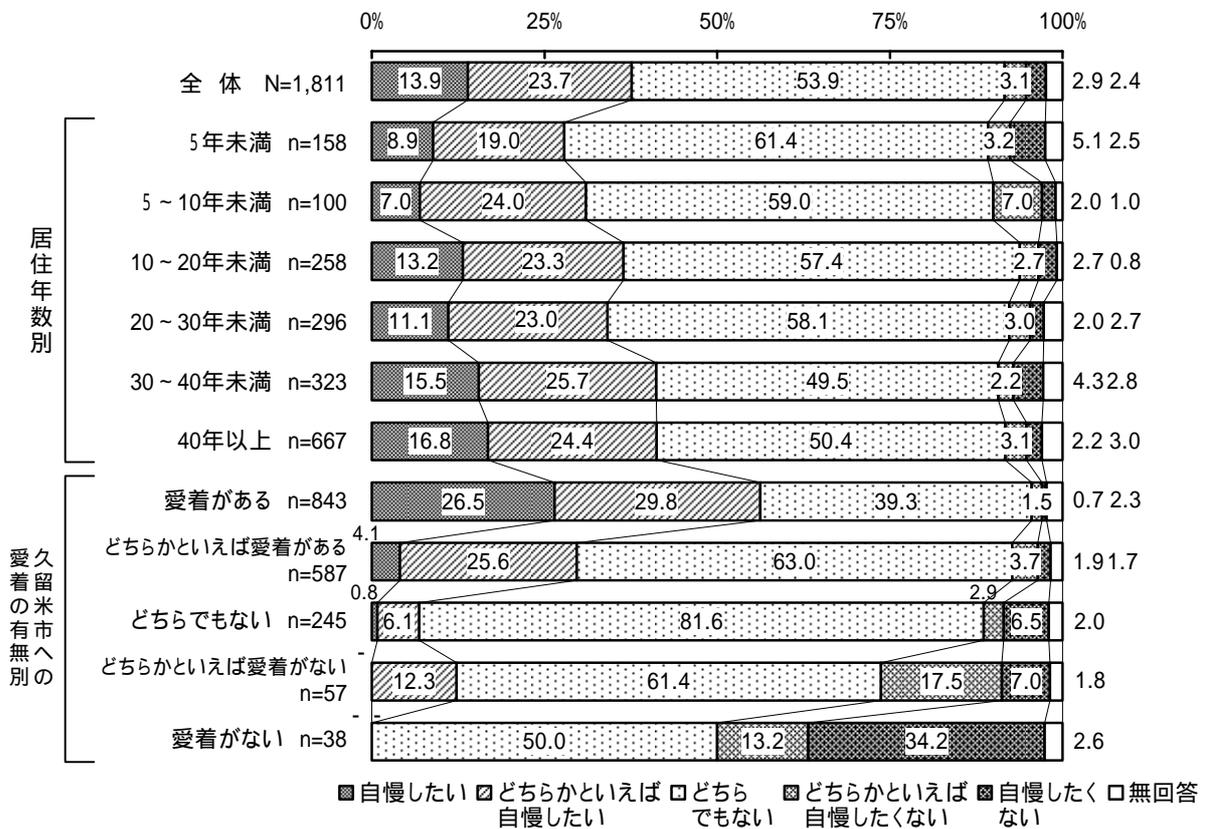
年齢別にみた久留米市のイメージ(上位8位)



3 - 4 久留米市のPR

市外の人に本市のことを『自慢したい』人は37.6%。愛着を持っている人では5割を超える。

問15 あなたは、市外に住んでいる人に久留米市の良いところを自慢したいと思いますか。
(あてはまる番号に1つだけ印)



- ・性別でみると、「自慢したい」と「どちらかといえば自慢したい」をあわせた「自慢したい」割合は女性の方がやや高く、男性 34.5% に対し女性 40.2%。
- ・年齢別でみると、70歳以上で「自慢したい」と答えた人が48.9%と特に多い。
- ・ブロック別にみると、中央部(42.4%)、南西部(42.2%)、中央南部(40.9%)、南東部(40.1%)で4割を超える。

考 察 住みやすさ・愛着

安定的に推移 久留米市への定住意向と愛着

「これからも久留米市に住み続けたい(市内の別の場所に住みたいを含む)」と答えたのは、76.0%。この数字はここ 20 年ほど大きな変化がないようである。昭和 59 年度の調査で「今後も久留米市に住み続けたい」と答えたのは 79.1%であり、平成 13 年度の調査では「一生住み続けたい・できれば住み続けたい」が 72.1%である。設問文が同じではないので厳密な比較はできないが、大きな変化はないようにみえる。つまり、久留米市民の約 8 割は、久留米市に住み続けたいと思っている。また年齢や居住年数が長いほど定住意向が高くなる傾向も同じである。

久留米市に対する愛着も大きな変化はない。「久留米市に愛着を持っている・どちらかといえば愛着を持っている」と答えたのは今回の調査で 78.9%。昭和 59 年度調査では「久留米市に愛着を感じている」と答えたのは 79.1%でほとんど変化していない。

定住意向に影響を与える要素

久留米市に住み続けたいという定住意向を持っているのはどのような人なのか。

第一に、居住年数の長い人ほど定住意向が強い。久留米市に住み始めて 5 年未満の人で「今住んでいるところにこのまま住み続けたい」と答えているのは 33.5%だが、これが 10~20 年未満になると 52.7%に増え、40 年以上になると 76.0%になる。この居住年数はほぼ年齢と関係しているので、若年者よりも高齢者で定住意向が強いということでもある。

第二に、近所づきあいが密な人ほど定住意向が強い。「つきあいはない」と答えた人で、「今住んでいるところにこのまま住み続けたい」と答えたのは 28.6%にすぎないが、「会えば世間話をする」人では 71.9%に増え、「毎日でもお互いに家を行き来する」人では 97.3%にもなる。

第三に、持ち家、とくに集合住宅(分譲マンション)に住んでいる人ほど定住意向が強い。賃貸住宅だと「このまま住み続けたい」が 40%強であるが、持ち家だと 70%程度になる。しかも持ち家でも一戸建てに住んでいる人よりも、集合住宅に住んでいる人のほうが定住意向は強いようだ。

近所づきあいの程度別・居住形態別久留米市定住意向 (%)

	みこのると今 続このま住 けまままに たい住い たい	にの久 住米 み市 たい内 の場 所	に久 住米 み市 たい外	わ か ら な い
毎日でもお互いに家を行き来する	97.3	2.7	0.0	0.0
ときどき家を訪問する	76.6	7.3	5.1	10.9
会えば世間話をする	71.9	12.9	6.7	8.6
会えばあいさつする	54.6	18.5	9.3	17.6
つきあいはない	28.6	20.4	23.5	27.6
持ち家・一戸建て	66.9	11.8	7.5	13.8
持ち家・集合住宅(分譲マンション)	73.1	11.9	9.0	6.0
借家住宅(一戸建て)	46.4	18.2	10.0	25.5
賃貸住宅(アパート・マンション)	43.1	30.9	11.0	14.9

異なる定住理由 一戸建て層と分譲マンション層

高い定住意向を持つ「持ち家」居住者であるが、一戸建て居住者と集合住宅（分譲マンション）居住者とは、住み続けたい理由に少し違いがある。

集合住宅（分譲マンション）居住者は利便性を重視している。具体的には「JRや西鉄等交通の便がよい」、「買い物等日常生活の便利がよい」、「医療・福祉施設やサービスが充実」などが重視されている。それに対して、一戸建て居住者は住みなれている地域性を重視している。具体的には「住みなれている」、「緑や自然が豊かである」、「地域に愛着がある」、「地域住民のつきあいがうまくいっている」などが重視されている。

居住形態別定住したい理由(複数回答・主要なもののみ掲載) (%)

	JRや西鉄等 交通の便がよい	買い物等日常 生活の便利が よい	医療・福祉施 設やサービ スが充実 がよい	住みなれて いる	緑や自然が豊 かである	地域に愛着が ある	地域住民のつ きあいがうま くいっている
持ち家・一戸建て	21.1	22.0	14.2	39.8	23.6	21.3	13.2
持ち家・集合住宅(分譲マンション)	44.8	37.3	19.4	19.4	16.4	11.9	1.5
借家住宅(一戸建て)	13.5	26.1	10.8	21.6	9.9	10.8	9.0
賃貸住宅(アパート・マンション)	17.0	22.5	7.1	21.9	7.7	8.2	5.8

住みかえたい理由

今回の調査で「久留米市内の別の場所に住みたい」と答えた人は15.8%、「久留米市外に住みたい」と答えた人は8.7%である。ではどのような理由で住みかえたいと思っているのだろうか。

「久留米市内の別の場所に住みたい」人たちが重視する理由は、利便性である。その具体的な理由は、持ち家・集合住宅居住者とはほぼ同じで「買い物等日常生活の便利がよい」ことを重視して住みかえたいという理由が69.2%、次いで「JRや西鉄等交通の便がよい」ことを重視して住みかえたいという理由が49.3%、「医療・福祉施設やサービスが充実している」ことを重視が33.6%となっている。

「久留米市外に住みたい」人たちが住みかえたい場所として重視するのは、「交通機関が充実している」場所が51.0%、「買い物や娯楽が楽しめる」場所が36.3%となっており、やはりこれも利便性を重視する住みかえ理由となっている。

「住みなれた地域性」と「利便性」への対応

つまり久留米市の定住意向は、一戸建て居住者が理由としてあげるような「住みなれた地域性」という側面と、分譲マンション居住者や住みかえ意向を持っている人が理由としてあげる「利便性」という側面の2つが存在している。

現状の割合でいえば、久留米市において分譲マンション居住者や住みかえ意向を持っている人は全体のなかで少数であるため、「利便性」を全面的に重視する久留米市民は少ないということになる。また今後の久留米市への居住意向として「わからない」という人が、特に若年層に一定程度みられる(20歳代24.7%、30歳代20.7%)。今後、久留米市でも人口減少へと転じていくなかで、市外に住みたい、わからないという人を減らし、定住を促進することが必要となる。それには、「住

みなれた地域性」という魅力を保ちながら、「利便性」についても対応が求められるだろう。しかし、利便性といっても具体的なニーズは年齢や居住地、あるいは就業地等さまざまな要因から違いがあり、今後はこうした市民のニーズを細かに把握し、施策に反映させていくことが、ますます重要となるだろう。

自然、グルメ、農業、医療・福祉という久留米市のイメージ

今回の調査では久留米市のイメージについても調査している。

久留米市のイメージとして、多くの市民にあげられたのは「花・水・緑などの自然が豊かである」、「食やグルメがおいしく楽しめる」、「農業が盛んである」、「医療・福祉が充実している」である。逆にあまりよくないイメージとしては「働く機会や場所が不足している」、「犯罪が少ない安全な町でない」、「教育への取り組みが充実していない」などがあげられている。

自慢したい久留米のイメージ - 「グルメのまち」

今回の調査では「あなたは、市外に住んでいる人に久留米市の良いところを自慢したいと思えますか」を質問している。この結果、「自慢したい」は 13.9%、「どちらかといえば自慢したい」は 23.7%となり、4 割近くが自慢したいものをもっていった。具体的な自慢したいものとしては、「緑が多くて自然が豊か / 筑後川の景色・菜の花」など自然（川、山、平野など）に関するもの、「夜間・緊急時の受入医療機関がある / 医療設備の点で安心」など医療機関の充実に関するものなどが多くあげられ、食・グルメでは「食べ物がおいしい / ラーメンが美味しい」、文化・芸術では「筑後川花火大会 / 石橋美術館（青木繁、坂本繁二郎）」などがあげられている。

この「久留米を自慢したい」に最も結びついているのは、「食やグルメが楽しめる」というイメージである。「久留米を自慢したい」と「久留米のイメージ」の関連の大きさを示す相関係数をみると、「久留米は食やグルメが楽しめる」で .348 と一番大きな値となっている。これは「久留米を自慢したい」と答えた人の多くが久留米のイメージとして「食やグルメ」と答えたことを示している。ついで「花・水・緑などの自然が豊かである」、「歴史や文化芸術が盛んである」が続く。つまり「自然が豊か」、「歴史や文化芸術が盛ん」ということよりも、「食やグルメ」ということのほうが久留米を自慢できるものになってきている。

この「食やグルメのまち」というイメージは、どの年齢、性別を問わず、支持されてきている。近年の久留米で行われた食に関するイベント等が幅広く受け入れられているとあってよいだろう。

久留米を自慢したいと久留米のイメージの関連(相関係数)

	自然が豊か	食やグルメが楽しめる	歴史や文化芸術が盛ん	農業が盛ん	ものづくりが盛ん	医療福祉が充実	子育て支援が充実	買い物や娯楽	働く機会や場所が充実	教育が充実	犯罪が少ない	住民のつながり
久留米を自慢したいか	.305	.348	.305	.196	.268	.229	.218	.221	.192	.250	.162	.295

相関係数: 数字が大きいほど関連が強い。関連がまったくない場合は 0 になる。最も関連があった場合に 1.00 になる。